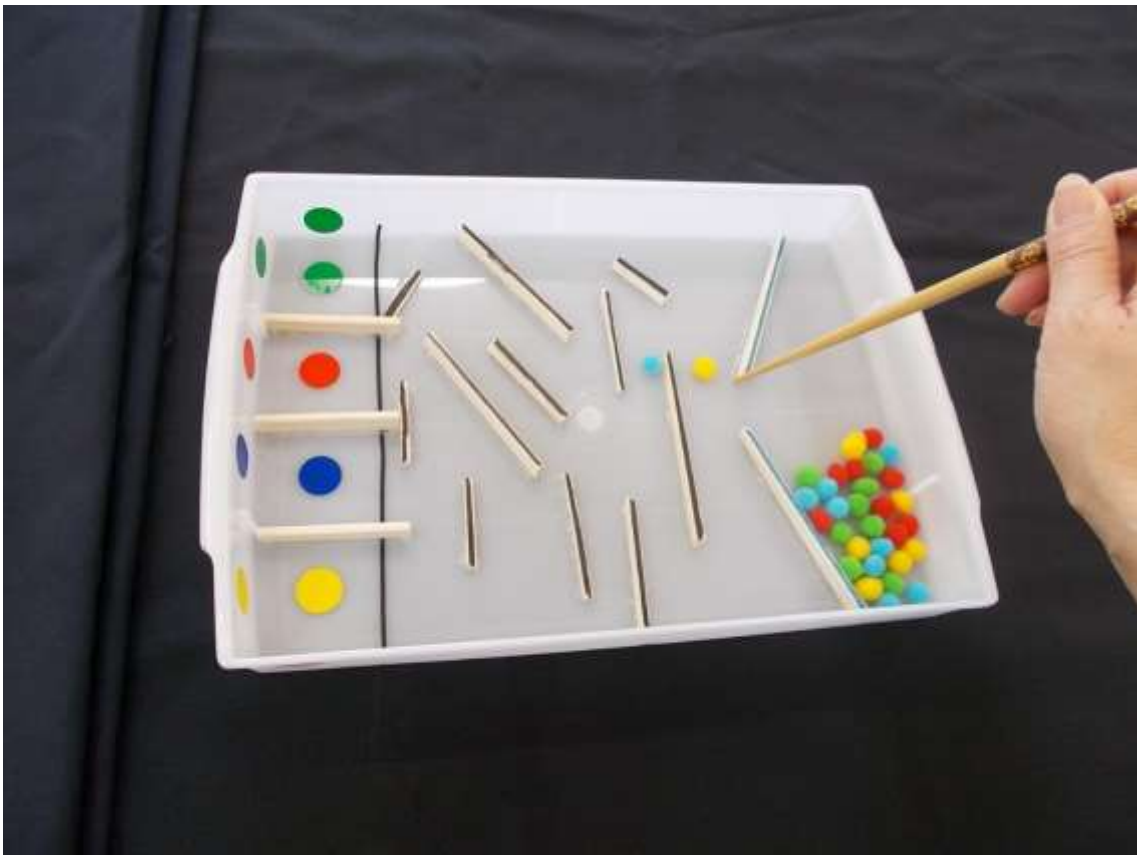


令和3年度

自作教材教具集



瀬谷養護学校
教育支援チーム

目次

1 操作の学習		太田StageIII-2		
		ひらがなキューブ	…P22	
太田Stage I		1文字ずつ言ってみよう	…P23	
	ゴム引っ掛け	…P 3	イラストを見て文字を書くセット	…P24
	ハンカチたたみ	…P 4	お金を数えよう (10円と1円)	…P25
	ボタン教材	…P 5		
		3 授業		
太田Stage II				
	トングの課題	…P 6	視覚教材	…P26
	箸の操作	…P 7	落書きアート	…P27
	箸ゴルフ	…P 8	模擬PASMO	…P28
			電車の模擬改札	…P29
2 認知			校外学習の事前学習	…P30
			電気をつけよう	…P31
太田Stage I			長さと重さの単位変換	…P32
	プットイン教材	…P 9	フライングディスク授業教材一式	…P33
	くるくるビーズ	…P10	セルフストレッチ	…P34
	お天気マッチング	…P11		
	8型マッチング	…P12	4 その他	
太田Stage II			イヤーマフ用ボックス	…P35
	重ね合わせよう	…P13		
	動物・乗り物・食べ物カード	…P14		
太田StageIII-1				
	色の名前	…P15		
	大・小の理解	…P16		
	ひらがなマッチング	…P17		
	数量と数唱	…P18		
	身支度を整えよう	…P19		
太田StageIII-2				
	文字のなぞり書き	…P20		
	ひらがな教材	…P21		

教材教具名	ゴム引っ掛け	分類	ステージ I	操作
		授業名	個別課題 (小学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴムに指をかけ引っ張ることができるようにする。 ・両手で引っ張り、棒にかけること手指の巧緻性や引っ張る動きを養う。 			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・教材を提示し、ゴムに指をかけるように促します。
- ・引っ張る動きを自分からできるように、はじめは教員と一緒に練習し、徐々に介助を減らします。

<材料>

- ・色ゴム、板、割りばし、フック

<工夫点>

- ・ゴムを色別にして色のマッチングの学習にもなります。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・指先を使ったり、手を手前に引く動きを練習するのに分かりやすいと思います。

教材教具名	ハンカチたたみ	分類	ステージ I	操作
		授業名	個別課題／自立活動 (小学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・角を合わせてハンカチをたたむことができる。 ・手元を見て操作することができる。 			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ハンカチを広げて渡し、たたむ活動を行います。
- ・ハンカチの角が合い、磁石が「カチッ」とつくように指導します。

<材料>

- ・ハンカチ、フェルト、強力磁石

<工夫点>

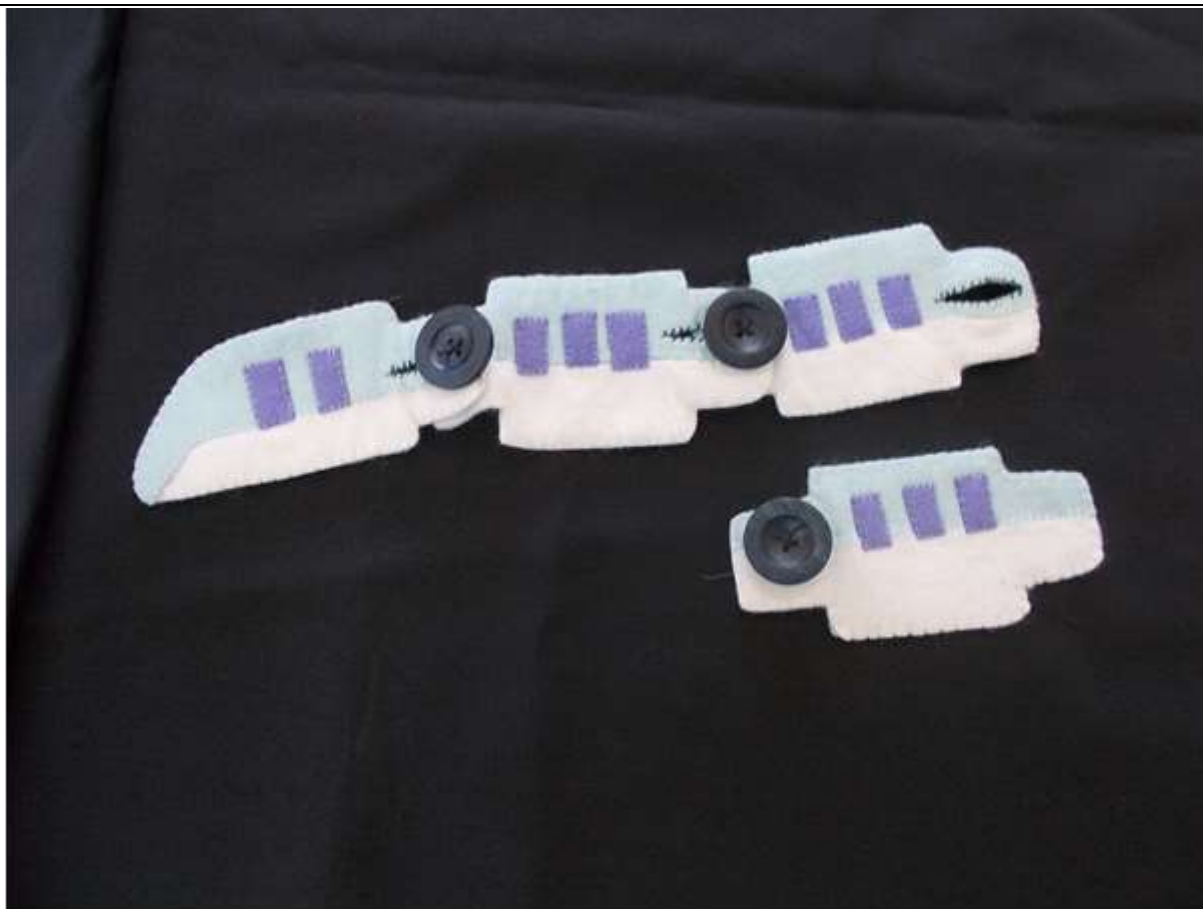
- ・角が合うと「カチッ」と磁石がつき、正解がすぐにフィードバックされるようにしました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・手元を見ないで操作をしてしまう子どもが、角を意識してたたむことができるようになりました。
- ・磁石のないハンカチでも、角を合わせようと意識してたたむようになりました。

教材教具名	ボタン教材	分類	ステージ I	操作
		授業名	個別課題 (小学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ボタンホールにボタンを入れることができる。 ・一人でボタンをつけることができる。 			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・初めはボタンホールからボタンを半分出した状態からボタンをつけます。
- ・徐々にボタンホールから出すボタンの面積を減らします。
- ・できるようになったら一人でボタンをボタンホールに入れ、ボタンをつけます。

<材料>

- ・フェルト ・ボタン

<工夫点>

- ・対象児の好きな新幹線の形で教材を作りました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・最初はボタンホールからボタンを半分出しても難しかったのですが、回数を重ねるうちに自分で頑張ってボタンホールに入れようとする姿が見られました。

教材教具名	トングの課題	分類	ステージⅡ	操作
		授業名	個別課題 (小学部)	
ねらい	・手指の操作性を高めることを目指す。			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・「お腹がすいて泣いているイヌさんに食べさせてあげよう」と伝えてから、トングを渡し、課題を始めます。
- ・全部できたことを確認したら、「お腹がいっぱいになってイヌさんもうれしそうだね」と、泣いている目を取り外し、笑顔になったイヌさんを見せて終わりです。

<材料>

- ・タッパー、食べ物消しゴム、マジックテープ、ラミネートしたカード

<工夫点>

- ・泣いている目を取り外しできるようにしました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・「イヌさんがお腹がすいて泣いているから助けてあげよう」というストーリーのある設定にすることで、学習意欲の向上につながりました。

教材教具名	箸の操作	分類	ステージⅡ	操作
		授業名	個別課題学習 (小学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・箸を正しく持ち、つまむことができる。 ・つまんだものと同じ色のケースに入れることができる。 			

教材教具の概要



<使用方法>

・箸でビーズやフェルトのボールをつまんでケースに貼ってある同じ色のシールの場所に入れます。

<材料>

・箸、ビーズ、フェルトのボール、製氷皿、シール

<工夫点>

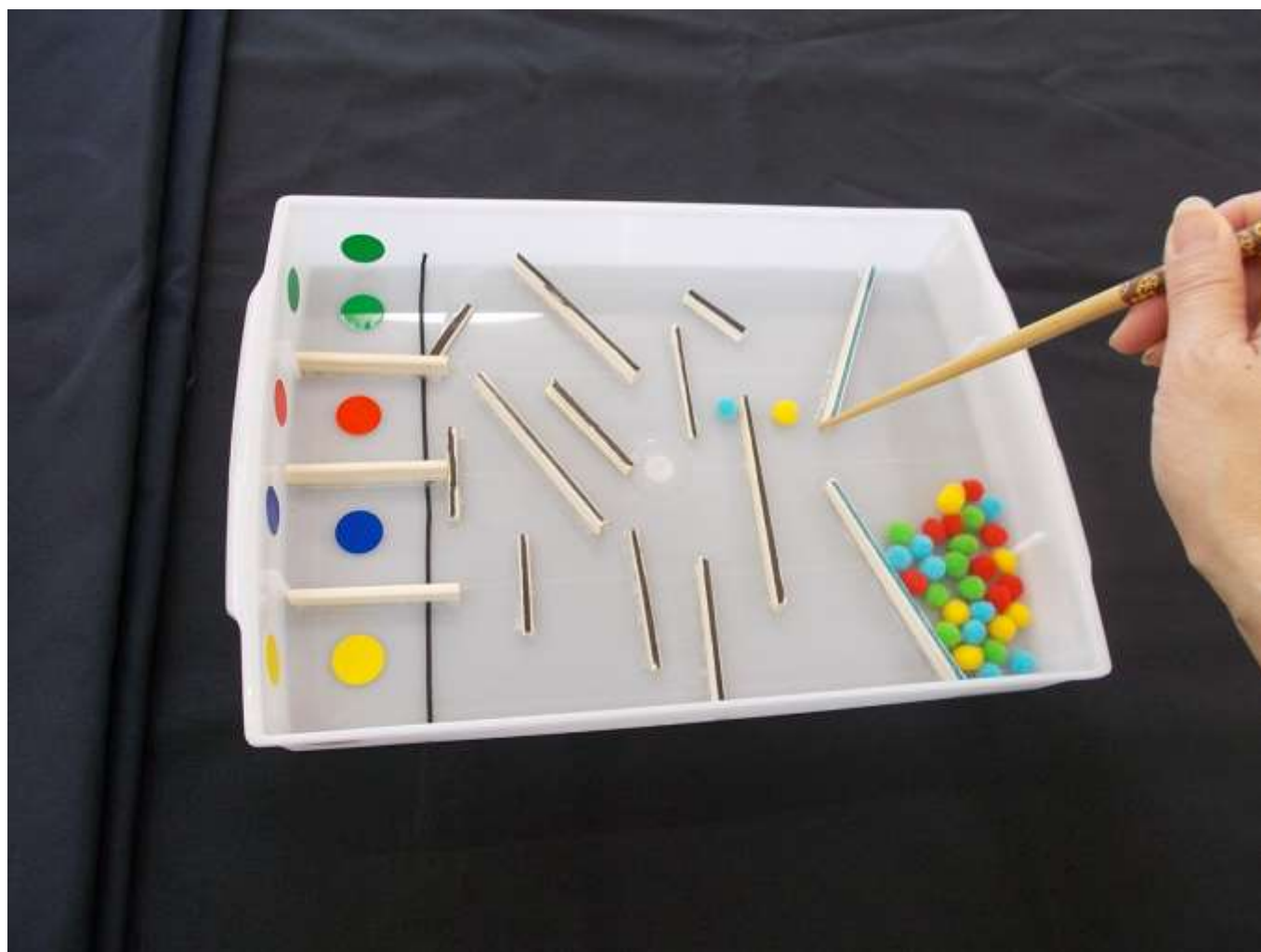
・フェルトやビーズの色と製氷皿に貼ってあるシールの色をそろえました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・給食の際に食べ方が上手になりました。
- ・細かい食材も箸でつまめるようになりました。

教材教具名	箸ゴルフ	分類	ステージⅡ	操作
		授業名	国語・数学 (中学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・箸の持ち方の感覚をつかむ。 ・ルートを選んで運ぶ。 			

教材教具の概要



<使用方法>

・箸を一本使いスタート位置から色ごとに振り分けられたゴールにフェルトボールを運ぶ。

<材料>

・A4 紙、引き出し、割りばし、はし、フェルトボール

<工夫点>

・コースを割りばしで自由に変えられるので、使用者が色々な方向に箸を動かす体験ができる。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・生徒が意欲的に一人で取り組めた。
- ・親指、人差し指、中指で箸を支えるのが上達した。

教材教具名	プットイン教材	分類	ステージ I	認知
		授業名	自立活動	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・始点—終点を分かりやすくする。 ・ラテラルリティ(つまみ操作)の発達を促す。 			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ビー玉を入れる。→音がすることで、入ったことを確認できます。
- ・うまく入れるために、利き手とは反対の手を使って支える必要があります。

<材料>

- ・タッパー、ビー玉、ガラス瓶

<工夫点>

- ・全盲、難聴でリクルートメント反応がある生徒のために作った教材です。生徒に聞こえて、かつ苦痛にならない音になるよう、ガラス瓶を使っています。

- ・うまく入れるために、利き手とは反対の手で支える必要があります。

※補足・・・リクルートメント反応とは、難聴耳の場合、聴覚補充現象のため、上手く聞き取れる音の範囲が狭くこれを超える大きい音を聞いていた時に騒音痛を生じること。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・わかりやすいので、見通しをもって取り組みました。

教材教具名	くるくるビーズ	分類	ステージ I	認知
		授業名	余暇 (小学部)	
ねらい	・くるくると回りながら落ちてくるビーズを見て楽しむことができる。			

教材教具の概要



<使用方法>

・ペットボトルを動かしてビーズが落ちる様子を楽しみます。

<材料>

・ペットボトル、針金、ビーズ、おゆまるくん

<工夫点>

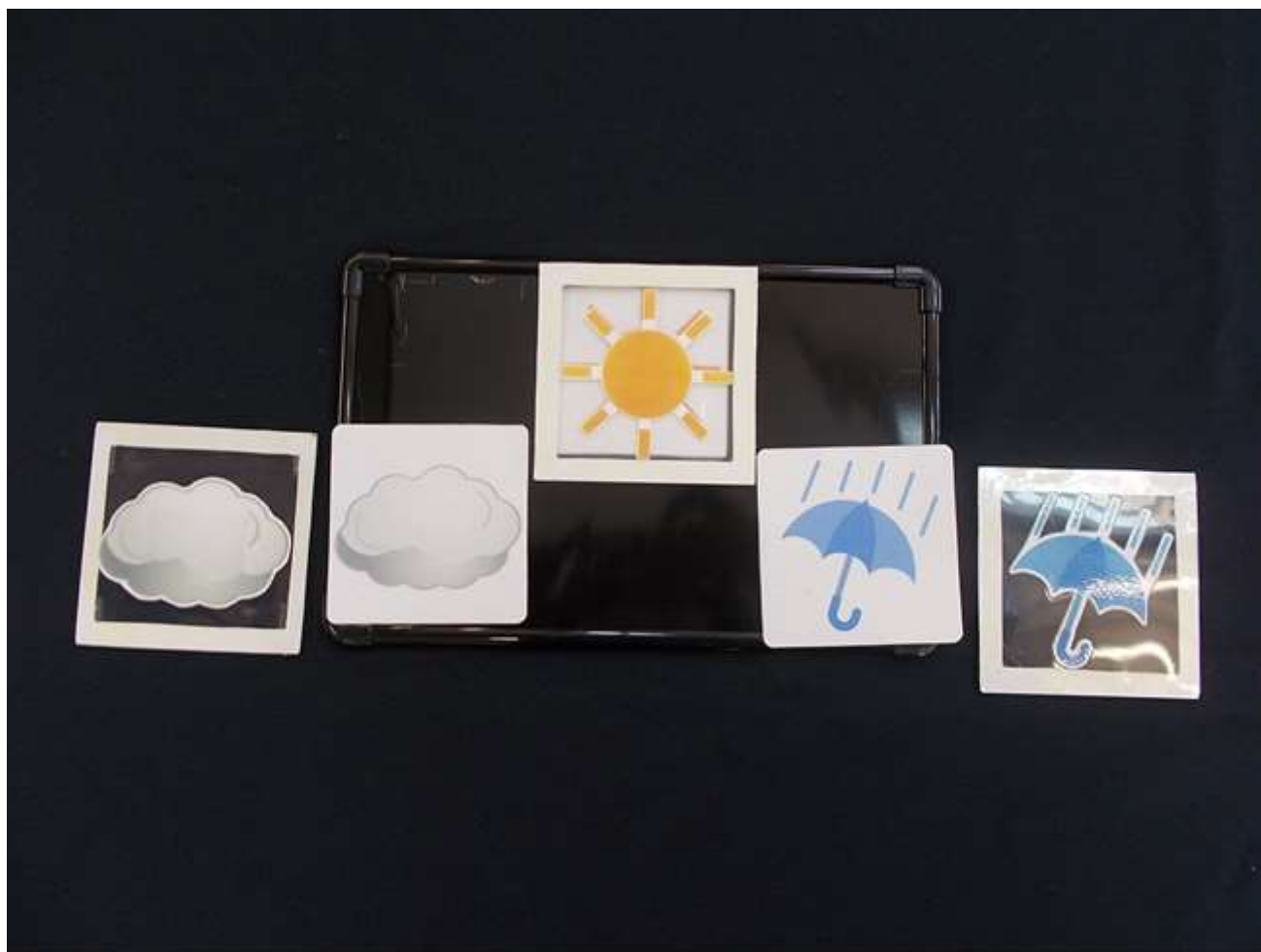
- ・ビーズがスムーズに落ちるように、針金をカーブさせました。
- ・おゆまるくんが蓋があかないようにし、ビーズの誤飲が無いようにしました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・子どもが、くるくるとビーズが落ちる様子を楽しんでいました。
- ・おゆまるくんが練りこまれていた香りを楽しむ様子も見られました。

教材教具名	お天気マッピング	分類	ステージ I	認知
		授業名	朝の会 (小学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・天気を意識し、視覚的に選択する。 ・同じ表示をマッピングする。 			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・朝の会での天気の確認時に使用します。
- ・重ねてマッピングできるように、周りが透明になっているカードで子どもに選択させます。
- ・同じ天気マークにマッピングさせ、正解であることを確認させます。

<材料>

- ・ラミネート、板紙

<工夫点>

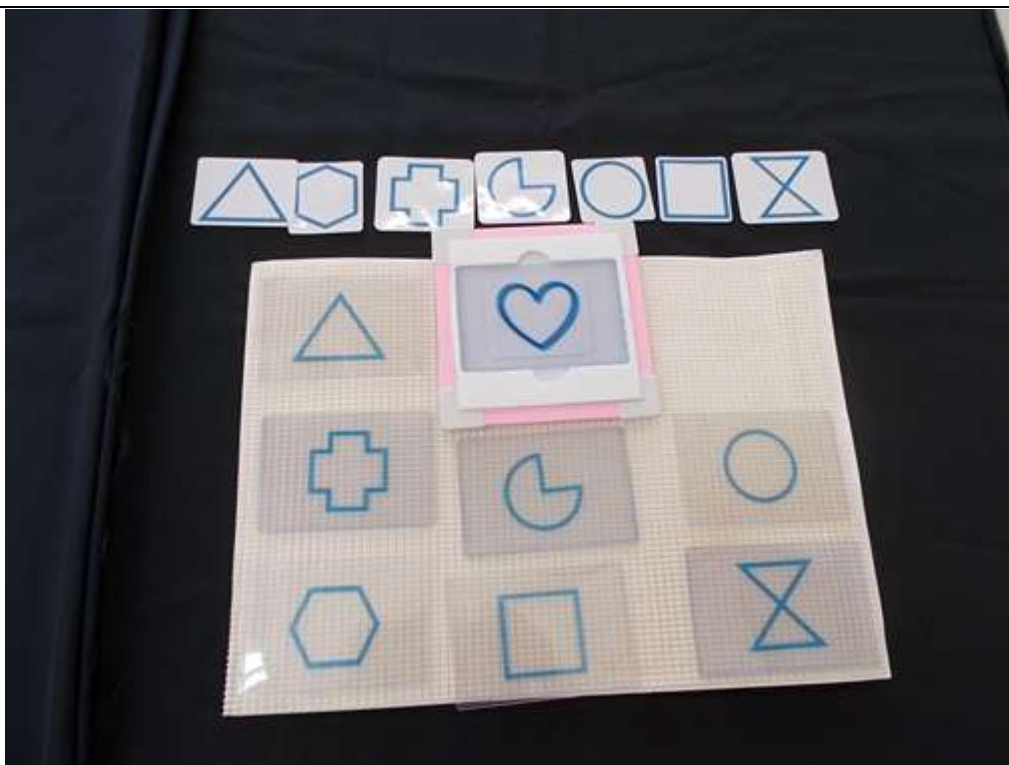
- ・マッピングがより分かりやすいように、天気マークの周りを透明にしました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・周囲を透明にしたことで、正しく置けているか理解することができました。

教材教具名	8型マッチング	分類	ステージ I	認知
		授業名	個別課題 (小学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・形を見分けるができる。 ・提示された形カードと同じ形カードがわかる。 			

教材教具の概要



<使用方法>

・枠の中に提示されたカードと同じ形のカードを複数のカードから選び、枠の中にはめる。

<材料>

・A7硬質ケース、フィルムラベルシール、ホワイトボード、貼りパネ、マグネットシート、厚紙、滑り止めシート

<工夫点>

- ・透明なカードにし、枠を作ることで、正誤を自分で見比べられるようにした。
- ・カードを硬質ケースにし、滑り止めシートの上にカードを置くことで、つかみやすいようにした。
- ・枠にくぼみを入れることで、自分で取り外しができるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

・間違いに自分で気づくことができた。カードが滑らないことでモチベーションがあがり、学習の意欲向上につながった。

教材教具名	重ね合わせよう	分類	ステージⅡ	認知
		授業名	国語・数学 (中学部)	
ねらい	・4つのマス目の中でどの位置にシールが貼られているか捉え、位置関係を学ぶ。			

教材教具の概要



<使用方法>

・見本シートに貼られたシールのとおりに、透明シートを重ね置く。

<材料>

・黒画用紙 ・丸シール ・マジックテープ ・ラミネートフィルム

<工夫点>

・マス目を透明シートにし、重ね合わせての正解確認ができるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

・マス目を透明シートにしたことで、重ね合わせるという意識が持てるようになった。

令和3年度 教材教具展

教材教具名	動物・乗り物・食べ物カード	分類	ステージⅡ	認知
		授業名	国語・数学・自立活動 (高等部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・動物・乗り物・食べ物の名前を知る。 ・イラストカードの仲間分けをする。 			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・指示されたカードを取る。
- ・提示されたカードの名前を答える。
- ・カードの仲間分けをする。

<材料>

- ・クリアファイル
- ・紙

<工夫点>

- ・覚えてイラストカードを変えられるようにクリアファイルを活用しました。

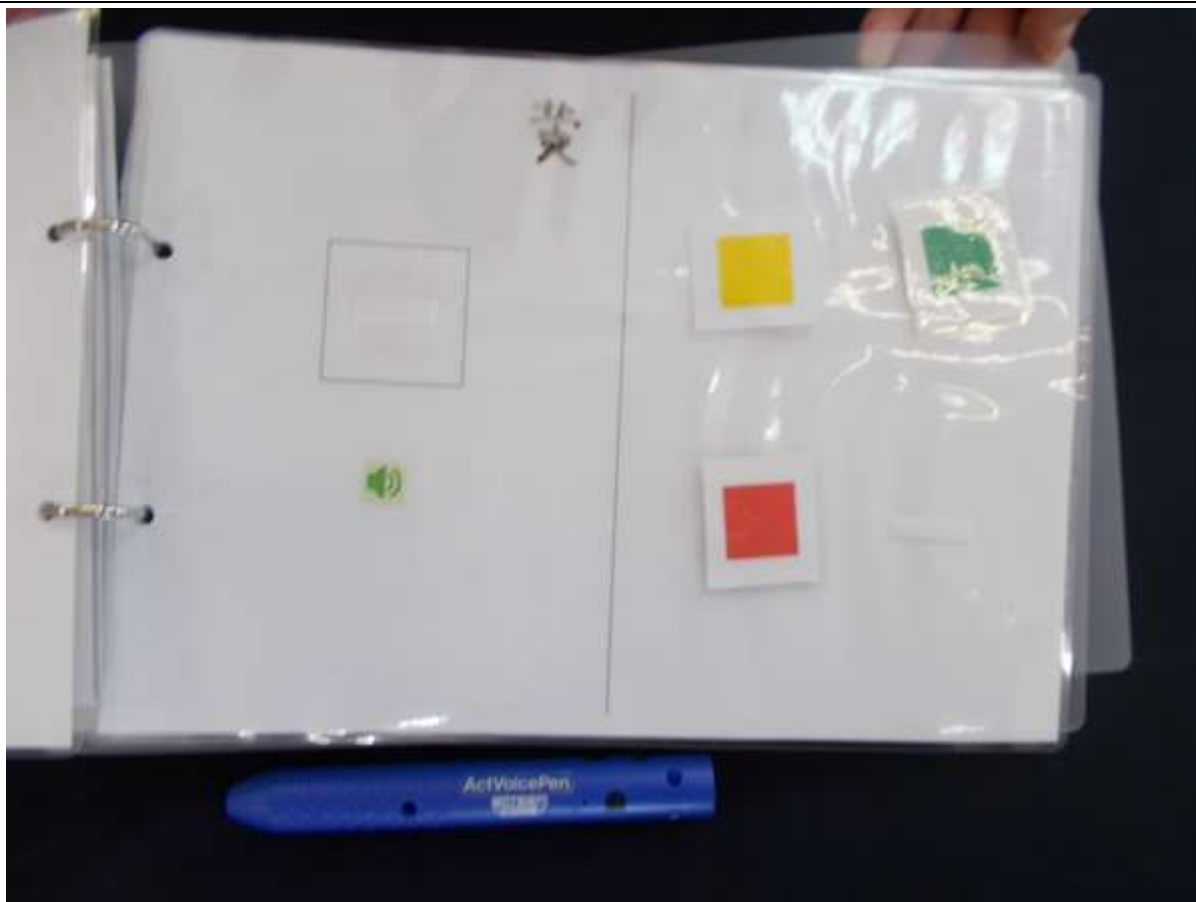
<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・クリアファイルを使ったことで容易にカードを交換でき、子どもの習得度に合わせて内容を変更することができた。
- ・カードの中身が変わることで、飽きにくい効果もあった。

令和3年度 教材教具展

教材教具名	色の名前	分類	ステージⅢ-1	認知
		授業名	個別課題／自立活動 (小学部)	
ねらい	・色の名称を知り、正しく選ぶことができる。			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ボイスペンを使用し、色の名称を確認する。
- ・ページの後半では問題に答える。

<材料>

- ・ラミネートフィルム、ボイスペン(Act Voice Pen)

<工夫点>

- ・ボイスペンを使用することで、楽しみながら取り組むことができるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・ボイスペンを使用することで、楽しみながら取り組むことができた。
- ・何度か取り組むうちに、自分で間違いに気づき、訂正することができた。

教材教具名	大・小の理解	分類	ステージⅢ-1	認知
		授業名	個別課題 (小学部)	
ねらい	・「大きい」「小さい」の理解を促す。			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・食べ物的大小を提示する。
- ・「大きい〇〇が食べたいな」とお腹がすいて泣いているくまさんを提示し、「大きい〇〇」を渡すように促す。
- ・裏側の笑顔のくまさんには正解を貼っておく。
- ・くまさんを裏返し、正誤を一緒に確認する。

<材料>

- ・ラミネートしたカード、マジックテープ

<工夫点>

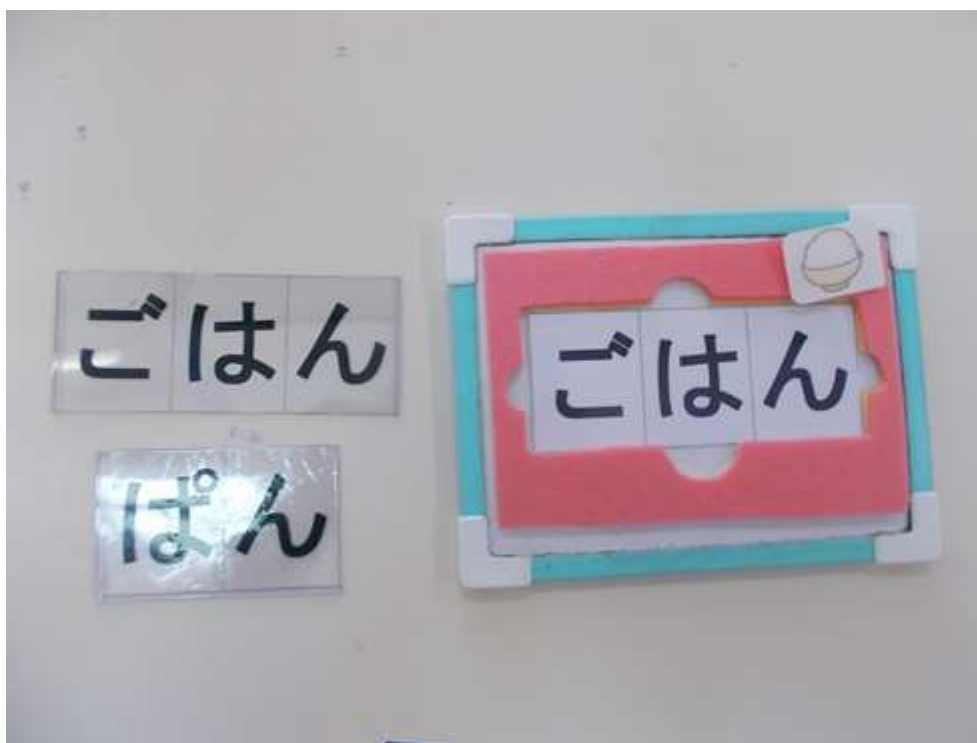
- ・くまさんを裏返した時に、正解を子どもが見てわかるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・子どもが興味のある身近な食べ物や動物を題材にし、さらにお腹がすいているくまさんに大きい食べ物をあげるという、子どもにとってより主体的な設定にしたことで、学習意欲の向上につながった。

教材教具名	ひらがなマッチング	分類	ステージⅢ-1	認知
		授業名	個別課題 (小学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の見分けができる。 ・提示された単語のカードと同じカードがわかる。 			

教材教具の概要



<使用方法>

・枠の中に提示された単語カードと同じカードを選び、枠の中にはめる。サインや発声も同時に行う。

<材料>

・硬質ケース、フィルムラベルシール、ホワイトボード、貼りパネル

<工夫点>

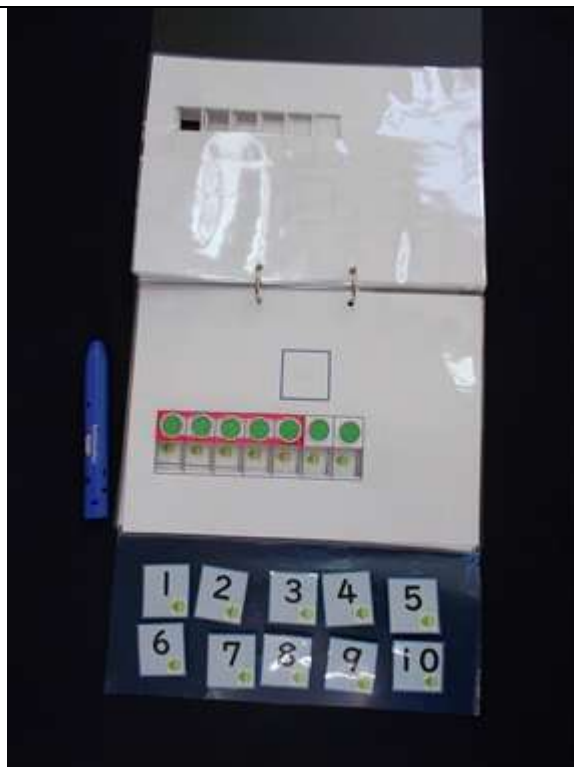
- ・透明なカードにし、単語の文字数に合わせた枠を作ること、正誤を自分で見比べられるようにした。
- ・カードを硬質ケースにし、つかみやすいようにした。
- ・枠にくぼみを入れ、自分で取り外しができるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

・間違いを選んだ時に間違いに気づきやすく、イラストを見ただけで、適切な単語を選べるようになった。

教材教具名	数量と数唱	分類	ステージⅢ-1	認知
		授業名	個別課題／自立活動 (小学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・5～10の数唱ができる。 ・半具体物を正しく数えることができる。 			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ボイスペンを使用し、半具体物を数えます。
- ・半具体物の数と同じ数字を選びます。
- ・選んだ数字が正しいかをボイスペンで確認します。
- ・慣れてきたら、ページを抜くなどし、難しくしていきます。

<材料>

- ・ラミネートフィルム、ボイスペン(Act Voice Pen)

<工夫点>

- ・ボイスペンを使用することで、楽しみながら取りくめるようにしました。
- ・選んだ数字が正しいか、自分で確認できるようにしました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・ボイスペンを使用することで、楽しみながら取り組むことができました。
- ・音が出る楽しさがあり、課題が終わった後「8、9、10」などつつがやく姿が見られました。

教材教具名	身支度を整えよう	分類	ステージⅢ-1	認知
		授業名	ホームルーム (高等部)	
ねらい	・決められた時間までに身支度を整えることができる。			

教材教具の概要



<使用方法>

・荷物整理、着替え、係の仕事、HR が終わるごとに、花丸を貼っていきます。

<材料>

・プラダン、透明テープ

<工夫点>

・1枚で完結できる形にした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

・言葉の指示をすると、正しく認識できず別の行動を行う生徒であった為、身支度に時間がかかっていた。少ない言葉かけで視覚的に活動内容がわかるようにすることで「つぎは？」の言葉かけのみで混乱することなく身支度ができるようになった。

教材教具名	文字のなぞり書き	分類	ステージⅢ-2	認知
		授業名	朝の会、個別課題／自立活動 (小学部)	
ねらい	・枠からはみ出さないで文字をなぞる。			

教材教具の概要



<使用方法>

・ホワイトボードマーカーで、枠からはみ出さずに文字のなぞりを行う。

<材料>

・のりパネル、ラミネートフィルム、両面テープ

<工夫点>

・段差を付けることで、はみ出さないよう意識できるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

・はみ出さずになぞりができるようになった。

教材教具名	ひらがな教材	分類	ステージⅢ-2	認知
		授業名	個別課題 (小学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがなカードを読んで、正しいイラストを選んで貼る。 ・ひらがなカードの下に、ひらがなチップを正しく貼る。 			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ひらがなカードの文字を教員と確認し、正しく読みます。カードが表しているイラストを2～3つの中から選んで貼ります。
- ・あらかじめ貼ってあるカードの下にチップを正しく貼り、自分でひらがなの言葉を構成します。

<材料>

- ・パネル・マグネット・ホワイトボード・イラスト

<工夫点>

- ・できるようになってきたら、イラストの下に文字チップで言葉を構成します。しりとりあそびのように、言葉じりの文字と同じ言葉を見つけて貼るなど、実態に応じてアレンジして使用するようにしました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・2～3文字の身近な動物や身の回りの物の言葉から行うことで、意欲的に取り組むことができました。カードの下にチップをマッチングさせる時に、1文字ずつ発音しながら貼り、自分などで言葉を構成することを楽しんでいました。

教材教具名	ひらがなキューブ	分類	ステージⅢ-2	認知
		授業名	国語 (高等部)	
ねらい	・キューブを操作して文字を並び替え、単語をつくる。			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・並べ替えたらず語が完成するようにキューブを置いておき、子どもに並び替えをさせる。
- ・お題の単語や、自分の名前などで並び替えを行う。

<材料>

- ・100均の木片
- ・ラミネートシート
- ・紙
- ・両面テープ

<工夫点>

- ・文字を探しやすいように、1つの木片には、行ごとの文字(あ行の木片、か行の木片等)を貼った。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・文字を書くのが苦手な生徒も意欲的に取り組めた。
- ・子どもの課題に応じて、難易度を調整することができた。

教材教具名	1文字ずつ言ってみよう	分類	ステージⅢ-2	認知
		授業名	国語・数学 (中学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの単語の中の一文字一文字を意識して発音する。 ・単語の中に含まれている音に気づく。(音韻意識) 			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・表示されているイラストを見て、教員と一緒に名称を確認します。
- ・画面をタップして、聞こえた音と一緒に文字を発音します。
- ・再度タップして、次の文字と一緒に発音します。

<材料>

- ・ipad(アプリ:key note)

<工夫点>

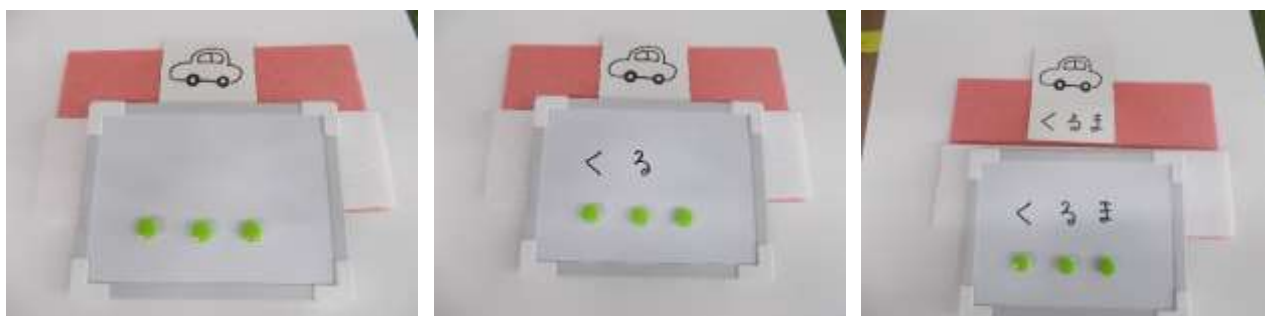
- ・対象としている子どもが好きな単語、よく使う単語を設定しました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・明瞭に発音できる単語が少しずつ増えてきました。
- ・カードやプリントで同じような課題をやっていたときよりも意欲をもって課題に取り組むことができました。

教材教具名	イラストを見て文字を書くセット	分類	ステージⅢ-2	認知
		授業名	国語・数学 (中学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストを見て文字をかける。 ・文字の写し書きの向上。 ・音韻意識(言葉がいくつの音でできているか等)をつける。 			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・イラストカードを見てその音の数を確認する(音の数分マグネットをホワイトボードに並べる)。
- ・一文字ずつ発音して音の数を確認。
- ・一文字ずつ書く。
- ・正解を確認する(イラストカードの下部分の正解を隠しておいた部分を見る)。
- ・間違えてしまった場合は、正解を見て文字を書き直す。
- ・もう一度教員と一緒に読む。

<材料>

- ・イラストカード(100均のもの)、スチロールボード、両面テープ、ホワイトボード、マグネット筆記用具

<工夫点>

- ・イラストカードの文字が絶妙に隠れるように位置を調節した。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・写し書きする文字の向上(読みやすく文字を書けることが増えてきた。)
- ・日課の書き写しを正しくできない(「きゅうしょく」を「ぎゅうにゅう」等、予測変換して書いてしまう)子どもの課題が改善した。

教材教具名	お金を数えよう(10円と1円)	分類	ステージⅢ-2	認知
		授業名	個別課題 (小学部)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・10円と1円の違いを理解する。 ・10円と1円が何枚でいくらかを理解する。 			

教材教具の概要



<使用方法>

- ・買い物練習でお金を支払う場面で使用します。
- ・欲しい物の金額を記入し、10円を貼っていきます。
- ・1円を貼ったあとに10円と1円に分かれているカードを貼り合わせ、2桁の金額にします。

<材料>

- ・マジックテープ・イラスト・ラミネート

<工夫点>

- ・10円を貼る際は1の位が0と決まっているため、0をあらかじめ書いておき、お金が貼れないようにしました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・10円と1円を分けて貼れるため、金種の混同が減ってきました。
- ・金額を書いてからお金を貼ることで、何枚貼るかを見て確認しながらできました。

教材教具名	視覚教材	分類	授業
		授業名	音楽 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に出てくる登場人物や物などを絵で提示することで、視覚的にも理解する。 ・音楽や、パネルを見て、季節を感じる。 ・音楽を通して、食べ物に興味を持つ。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ピアノの生演奏の音楽に合わせて、歌いながら絵人形を動かし子どもに見せます。
- ・CDの音楽に合わせて、様々な野菜のめくりをみせます。声を出したり、手遊びをしたりします。

<材料>

- ・不織布で作った絵人形、野菜をラミネートしたイラスト

<工夫点>

- ・パネルの絵人形は原色の色鮮やかな色を塗り、太いペンで縁取りすることで、子どもの視覚にパツと入り、はっきりとした絵になるように作成しました。
- ・手遊びをしながら、カードが次々と見せられるように、めくりカードを作成しました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・子どもが集中して視覚教材を見るようになってきました。また、絵人形に注目するようになりました。
- ・言葉をしゃべることができる子どもは、めくりの名詞を言いながら手遊びするようになりました。
- ・給食時に出た野菜も、音楽を話題にして、興味が持てるようになりました。

教材教具名	落書きアート	分類	授業
		授業名	美術 (高等部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・乱雑な線から形を見出す。 ・複数の形からストーリーを展開する。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ①画用紙に黒ペンで線を描く。(なるべくいい加減に描く)
- ②他の人が描いた用紙と自分の用紙を交換する。
- ③他の人が描いた線の中にどんな形が見えるか想像して、足りないパーツを追加する。(例えば、人の顔に見える線に鼻や口を描き足す。)
- ④可能なら、一つの画用紙の中にテーマ(クリスマス、水族館、不思議な国等)をもって取り組む。

<材料>

- ・画用紙
- ・ペン(各色)

<工夫点>

- ・他人の描いた線を使うことで、「デッサン力のあるきちんとした絵を描けない。だから絵を描かない。」という気持ちの生徒も描くことができた。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・『何がどのように見える』というのは人それぞれで、それも個性。』という話をする事ができた。
- ・作品(他の人が描いた線)との対話が出来た。

令和3年度 教材教具展

教材教具名	模擬 PASMO	分類	授業
		授業名	生活 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習などの行事に向けて、改札口をスムーズに通過する練習をする。 ・IC カードを使い、改札を通る流れを理解する。 		

教材教具の概要



<使用方法>

・カードでタッチし、音が鳴ったら通過します。

<材料>

・横須賀工業高校電気科の生徒さんたちのご厚意で作成していただきました。

<工夫点>

・実際の自動改札に近い感覚を持てるよう、光を遮れば音が出るようになっています。

<使ってみてよかったところ、効果等>

・最初は注目できなかった児童が、タッチの仕方を理解し、模擬改札をひとりで通ることができるようになりました。

令和3年度 教材教具展

教材教具名	電車の模擬改札	分類	授業
		授業名	社会 (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習などの行事に向けて、改札口をスムーズに通過する練習をする。 ・ICカードを使い、改札を通る流れを理解する。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ICカードのカード入れ(切符入れ)を首から下げておきます。
- ・改札を通る際に決められた場所にカードを差し出し少し押さえます。
- ・「ピッ」と音がしたのを確認してから通過します。

<材料>

- ・段ボール、画用紙、テープ類、写真(拡大コピーしたもの)、VOCA

<工夫点>

- ・スモールマックを入れたことで、「ピッ」という音が出るようにしました。
- ・音が鳴るまでは通過できないことを、子どもが確認することができました。
- ・切符で改札を通ることにも対応する形にしました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・音が出るようにカードをしっかりあてる操作を行って、改札を通る練習が繰り返しできました。
- ・校外学習では、学習の成果をほぼ全員が発揮することができ、スムーズに改札を通過することができました。

教材教具名	校外学習の事前学習	分類	授業
		授業名	社会生活 (高等部)
ねらい	・校外学習の概要を“楽しく”知る。		

教材教具の概要



<使用方法>

・iPad をテレビにつなぎ、keynote を操作します。

<材料>

・iPad(Keynote のアプリでスライドを作成)

<工夫点>

・子どもが参加できる場面をつくったり、「次はどうなるのだろう」「何が出るかな」と、わくわくできたりするような内容・展開にしました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

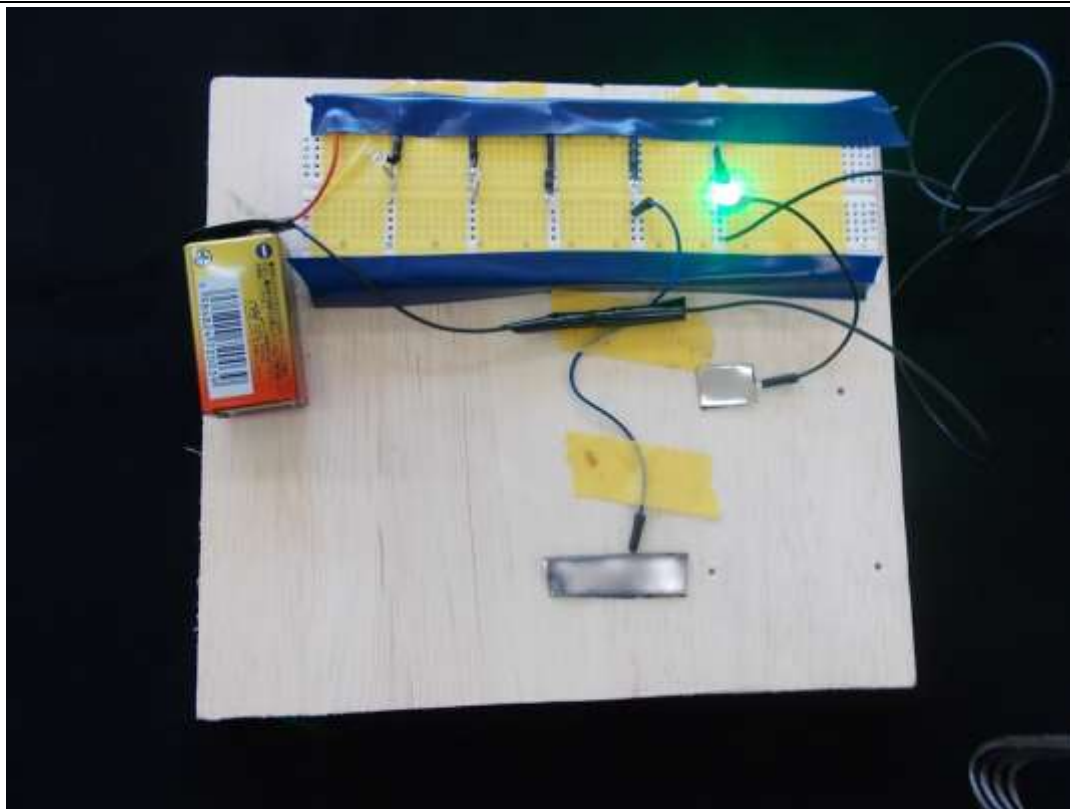
・ねらい通り、「お！」「わ～！」と、興味を持って画面を見る生徒が多かったです。

・見ている側は、「次は何が出る？」と思う仕組みだが、展開をパターンのすることで授業をスムーズに行うことができました。

・内容を変えれば、他の題材でも活用できます。

教材教具名	電気をつけよう	分類	授業
		授業名	理科
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・手元を見て操作することができる。 ・電気と線のつながりを理解することができる。 ・簡単な回路の仕組みを知る。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・9v角電池をソケットにつける。
- ・黒い線の先を LED のついている並びの穴にさす。(or 板についている金属板につける)

<材料>

- ・角電池、電池スナップ、LED(抵抗付き)、金属(産廃から抜き取り)、ジャンパーワイヤー等(電気を通すコード)、ブレッドボード

<工夫点>

- ・ブレッドボードは穴が多いので、正しい穴を選択できるように使わない穴をテープで隠す。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・点灯することで作業ができたか自分で確認でき、子どもも喜んでいる様子がみられた。(ただし、LED は長時間直視するのはだめなので半透明のカバー等をつけるとなおよい)
- ・金属板等によつて的を大きくすることができるので、児童生徒の手指の動きに合わせた設定が可能になる。

教材教具名	長さや重さの単位変換	分類	授業
		授業名	数学 (高等部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の計測を通して、単位に対する具体的なイメージを持つ。 ・単位変換用の枠を使用して何度も計算に取り組み、自然と計算イメージが持てる。 		

教材教具の概要

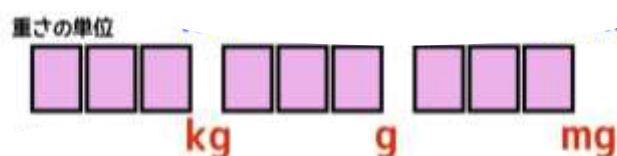
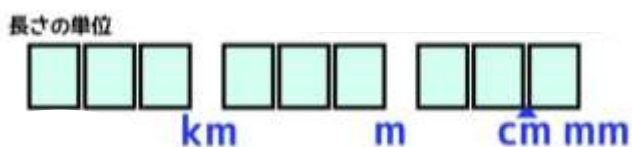


<使用方法>

・下記の枠に数字を入れると単位変換ができることを説明する。

例:「2mは何 cm」という問いでは、まず枠に2mと入れ、その後に0をcmまで記入すると、答え200cmが導き出せます。

「2kgは何g」という問いでは、枠に2kgと入れ、その後に0をgまで記入すると、答え2000gが導き出せます。



<材料>

・紙

<工夫点>

・数学に苦手意識がある子どもにも「これならできる」と思えるような教材を考えました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

・単位変換に対して苦手意識が強く、「1m=100cm=1000mm」「1kg=1000g」等の法則を数字のみで理解して活用することは難しい子どもに対して使用しました。上記の枠を使用したところ数字を入れるだけなので取り組みやすく、どんな応用問題や文章問題も自分から枠を使用して取り組みました。何度も計算に取り組んだ結果、枠がなくても思い出すことで問題に取り組んだり、自分で枠をプリントに記入して取り組むようになり、単位変換に対する苦手意識をなくすことができました。

令和3年度 教材教具展

教材教具名	フライングディスク 授業教材 一式	分類	授業
		授業名	体育 (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめて取り組む競技に興味をもって取り組み、新しい競技を経験する。 ・フライングディスクを通して、普段とは違う動きを経験したり、友だちと協力して取り組む。 		

教材教具の概要



<使用方法>

【導入期】 ①競技PV → ②競技紹介映像 → ③振り返りにPPT

【展開期】 アキュラシー(ウォールクラッシュ)、ディスタンス(フープゴール、ピザ窯ゴール)

【成熟期】 ディスクゴルフ(ピザ窯ゴール)

<材料>

- ・ウォールクラッシュ:段ボール、レンガ柄プリント、鈴
- ・フープゴール:フラフープ、ハードル、鈴、ゴール的
- ・ピザ窯ゴール:段ボール、レンガ柄プリント、いろいろな味のピザ(ラミネート有)
- ・足形マット(屋内・屋外):ケンステップ、足形、滑り止めマット(屋内)

<工夫点>

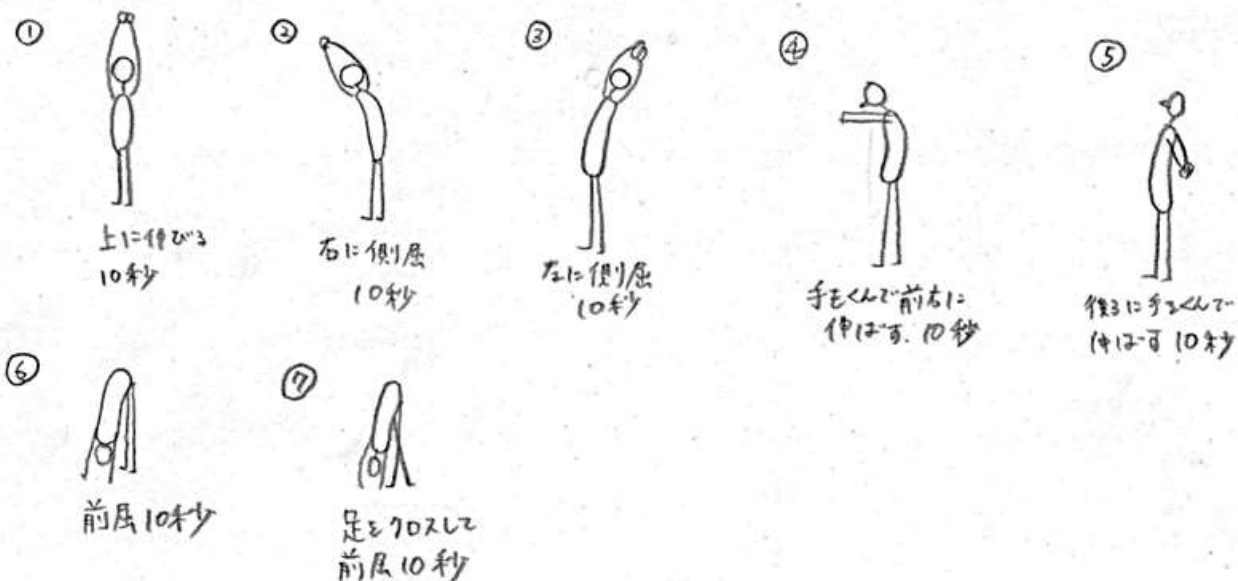
- ・はじめて取り組む子どもがほとんどだったため、まずは興味をもってもらうため、導入部分で興味を持ちやすい映像やPVを交え、「簡単な競技」という意識を持たせた。
- ・「楽しくディスクを投げる」をテーマに、正式種目であるアキュラシーやディスタンスを意識した授業展開と教材を作成した。
- ・子どもの実態に応じて、正しい投げ方ができるような補助教材を準備した。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・映像を使うことにより、子どもが集中して取り組むことができた。
- ・正しい投げ方を習得できるよう、いくつかのポイントを絞って取り組むことで、段階的にスキルレベルを上げることができた。場合により、補助教材を利用した。
- ・いろいろな的や目標物を用意し、鈴を取り付けることで“倒した”、“当たった”を実感できるようにした。

教材教具名	セルフストレッチ	分類	授業
		授業名	体力づくり・体育・職業・校内実習 ・現場実習（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 自分でできる簡単なストレッチの方法を習得する。 自ら疲れた時に自主的にストレッチができるようにする。 自分で『どこが疲れたか』『どのようなストレッチをすると疲れが取れるか』について理解できるようにする。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- 各授業の最後に映像のストレッチを行い、ストレッチの方法を覚える。
- 『職業』の授業でどこが疲れたかを確認し、教員が子どもに投げかけながらその疲れの部分をはぐすストレッチはどのようなものが効果的かを自分達で見つけられるようにしていきます。
- 現場実習等の職業体験の時に一人で休み時間にストレッチをやるように伝えます。

<材料>

- なし

<工夫点>

- 簡単な動作にし、子どもが自分で行えるようにした。
- 毎回の授業で行うことで、定着を図った。
- 自分の身体について気がつけるよう言葉かけを行った。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- 「地味な動きだが、意外にやってみてよかった」と自主的に現場実習等でも行う子どももいた。

令和3年度 教材教具展

教材教具名	イヤーマフ用ボックス	分類	その他
		授業名	日常生活 (小学部)
ねらい	・イヤーマフの位置を固定することで自発的に装着することを目指します。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・取り出しやすいように児童机のサイドに磁石で設置。片づける際に一緒にボックスに入れる練習を繰り返し行います。

<材料>

- ・箱、フェルト、スポンジ、ボンド、磁石

<工夫点>

- ・片づける時にスポンジを両端に付けることで、イヤーマフが定位置に入るようにしました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・イヤーマフがボックスの中で定位置に入っているため、取り出しやすくなりました。
- ・フェルトを箱に接着したことで強度が上がりました。